

# 令和7年用柿病害虫防除基準

- 農薬を使用する際は、農薬の使用基準を遵守し、適正に使用してください。
- 農薬の使用基準は、農薬容器のラベルに記載されています。使用に際しては、ラベルをよく読んで確認してください。
- この基準は、令和6年10月1日現在の農薬登録内容に基づき作成しています。登録内容に変更が生じた時は、変更された内容に準じて使用してください。

散布時期	適用病害虫	薬剤名及び濃度 (水100ℓ当たり薬量)	収穫前 使用日数	総使用 回数	散布量	注 意 事 項 (収穫前使用日数、総使用回数)	防除履歴
① 休眠期 (発芽直前まで)	カイガラムシ類	1. 水 (98ℓ) 2. ハーベストオイル 50倍(2ℓ)	発芽前	—	300ℓ	1. ハーベストオイル50倍に替えて、スプレーオイル50倍(発芽前、-)を使用してもよい。	散布日 月 日 散布量 ℓ
② 5月中旬	アザミウマ類	1. 展着剤(ハイテンパワー) 10,000倍(10mℓ) 2. モスピラン顆粒水溶剤 <sup>㉑</sup> 2,000倍(50g)	前日まで	3回以内	400ℓ	1. ハマキムシ類の発生が多い園では、さらにダイアジノン水和剤34 <sup>㉑</sup> 1,000倍(45日前まで、4回以内)を散布する。 2. カキクダアザミウマの被害葉は見つけ次第摘み取り土中深く埋める。	散布日 月 日 散布量 ℓ
③ 開花直前 (5月下旬)	落葉病 アザミウマ類 カメムシ類	1. 展着剤(ハイテンパワー) 10,000倍(10mℓ) 2. ペンコゼブ水和剤 800倍(125g) 3. テッパン液剤 2,000倍(50mℓ)	45日前まで	2回以内	500ℓ	アザミウマ重点防除期なので、 防除を徹底する。	散布日 月 日 散布量 ℓ
④ 満開期 (6月10日頃)	うどんこ病 落葉病	1. オンリーワンフロアブル 2,000倍(50mℓ)	前日まで	3回以内	500ℓ		1. アーデントフロアブルに替えて、テルスターフロアブル <sup>㉑</sup> 3,000倍(3日前まで、2回以内)を使用してもよい。 2. すず点病の多い園では、園内の通風採光を図るとともに、6～7月の薬剤散布を徹底する。
	アザミウマ類 カメムシ類 ハダニ類	2. アーデントフロアブル 2,000倍(50mℓ)	前日まで	3回以内			
⑤ 6月下旬	落葉病 うどんこ病 すす点病	1. アミスター10フロアブル 1,000倍(100mℓ)	7日前まで	3回以内	500ℓ	例年、落葉病が多発する園地や荒廃園の隣接園では6月下旬までICポルドー412 50倍(-, -)を使用してもよい。 1. アミスター10フロアブルに替えて、ナリアWDG2,000倍(前日まで、2回以内)を使用してもよい。	散布日 月 日 散布量 ℓ
	アザミウマ類 カキノヘタムシガ	2. ダントツ水溶剤 4,000倍(25g)	7日前まで	3回以内			

## 柿施肥基準(成木:10a当り)

作型・目標収量	肥料名	施肥量(kg)	施肥時期	N	P	K
平核無 2,000kg	フレッシュフルーツ有機40	100kg	9月下旬	10.0	4.0	2.0

## 耕種的防除

全 般	1. 適切な肥培管理等により、樹勢を健全に保つ。 2. 園地の角など薬剤が到達しにくい部分や混み合っている部分の枝はせん除し、薬液が隅々まで到達しやすいようにする。 3. 病害虫は樹上の粗皮や芽の付近に越冬するものが多いので、効率防除を図るため、休眠期防除前に粗皮削りを行なう。
落 葉 病	1. 落葉を集め、土中深く埋める。
カキクダアザミウマ	1. 被害葉(葉巻など)は、見つけしだい摘み取り適切に処分する。
すす点病	1. 園地周辺の通風採光を図るとともに、枝葉が混みあわないように整枝・剪定を行う。

散布時期	適用病虫害	薬剤名及び濃度 (水100ℓ当たり薬量)	収穫前 使用日数	総使用 回数	散布量	注 意 事 項 (収穫前使用日数、総使用回数)	防除履歴
⑥ 7月上旬	落葉病 炭そ病 うどんこ病	1. 展着剤(アビオン-E) 1,000倍 (100ml)	14日 前 まで	5回 以 内	500ℓ	1. 前年チャノキイロアザミウマ・カキクダアザミウマ・カメムシ類・ハマキムシ類が多発した園では、ジェイエース水溶剤に替えて、ロディー水和剤 <sup>㉑</sup> 1,500倍(7日前まで、3回以内)を散布する。	散布日 月 日 散布量 ℓ
		2. ドキリンフロアブル 800倍 (125ml)					
		3. ジェイエース水溶剤 1,500倍 (66g)					
⑦ 7月中旬	落葉病 炭そ病 ハマキムシ類 (アザミウマ類)	1. 展着剤(ハイテンパワー) 10,000倍 (10ml)	前日 まで	3回 以 内	500ℓ	1. 高温時の散布は葉害の危険があるので、気温の低い時に散布する。 2. 降雨が多い場合、果実の軟化防止対策として以降の防除にストピットII500倍を加用してもよい。	散布日 月 日 散布量 ℓ
		2. スコア顆粒水和剤 3,000倍 (33g)					
		3. ダイアジノン水和剤 <sup>34</sup> 1,000倍 (100g)					
⑧ 7月下旬	うどんこ病 炭そ病 落葉病 チャノキイロアザミウマ カキクダアザミウマ カメムシ類	1. ナリアWDG 2,000倍 (50g)	前日 まで	2回 以 内	500ℓ		散布日 月 日 散布量 ℓ
		2. ロディー水和剤 <sup>㉑</sup> 1,500倍 (66g)					
⑨ 8月上旬～ 中	落葉病 炭そ病 すす点病 アザミウマ類	1. 展着剤(ハイテンパワー) 10,000倍 (10ml)	14日 前 まで	3回 以 内	500ℓ		散布日 月 日 散布量 ℓ
		2. ベルクート水和剤 1,000倍 (100g)					
		3. ダントツ水溶剤 4,000倍 (25g)					
⑩ 8月下旬～ 9月上旬	落葉病 炭そ病 すす点病 チャノキイロアザミウマ カキクダアザミウマ カメムシ類 ハマキムシ類	1. 展着剤(ハイテンパワー) 10,000倍 (10ml)	14日 前 まで	4回 以 内	500ℓ	1. 前年、落葉病やアザミウマ類が多発した園地では、本防除を必ず実施する。 2. 高温時の散布は葉害の危険があるので、気温が低い時に散布する。 3. 降雨が続く場合は、オーソサイド水和剤80 1,000倍(7日前まで、5回以内)を追加で散布してもよい。	散布日 月 日 散布量 ℓ
		2. ストライド顆粒水和剤 3,000倍 (33g)					
		3. ロディー水和剤 <sup>㉑</sup> 1,500倍 (66g)					